

萌芽	チェック項目
全体	全体的に
全体	様式の改変はないか(ヘッダーの欠落・枠の拡張・ページ増減・前年度以前の様式)
全体	誤字・脱字はないか
全体	句読点・カッコ・スペース・通し番号の過不足、飛びはないか
全体	カラーの図表等は白黒でも判別可能か(カラー使用制限はないが、審査員には白黒で送付)
全体	書体(明朝、ゴシックなど)の選択と、太字・下線など装飾は自由だが、不自然さはないか
全体	文字化けはないか
表紙	表紙
表紙	部局は正しいか(医員・病院組織所属者は「大学病院」、その他は「医学部」)
表紙	職名は正しいか(職員録参照)※講師(学内)→助教
表紙	研究経費総計の90%超が特定の費目に偏っていないか(物品費除く)
表紙	(偏っている場合は、『研究経費とその必要性』ページに理由を書いているか)
表紙	審査結果の開示を希望しているか
表紙裏	研究組織
表紙裏	役割分担に「研究代表者」「研究分担者」など、役割でなく種別のみを書いているか
表紙裏	(例えば「研究全体の遂行」だけでもいいので、実際に「何を」するか記入する)
表紙裏	エフォートが、実状に即した数値か(重要度でなく、応募課題に割く業務時間の比率として)
概要1～2	研究計画調書の概要
概要1～2	文字サイズは11ポイントより小さくないか(見出しのサイズが11ポイントなので参考)
概要1～2	『研究目的及び～』以降の指示されたページの各設問と回答がまとめてあるか(1～3)
概要1～2	※留意事項(斜体)が消してあるか
1～2	1 研究目的及び研究方法、応募者の研究遂行能力
1～2	文字サイズは11ポイントより小さくないか(見出しのサイズが11ポイントなので参考)
1～2	※留意事項(斜体)が消してあるか
1～2	設問①②③を網羅して回答してあるか
1～2	③…略歴、業績リストなどと成果の概略(業績リストの本人名は下線などで目立たせるとよい)
1～2	ヘッダーが変になっていないか?
1～2	余白線をはみ出していないか(上下20mm、左右25mm以内)
3	2 挑戦的研究としての意義(本研究種目に応募する理由)
3	設問①②を網羅して回答してあるか
3	設問にない審査項目【波及効果】の記載もあるか(幅広い学術・技術・産業・文化・社会への貢献)
3	ヘッダーが変になっていないか?
3	余白線をはみ出していないか(上下20mm、左右25mm以内)
	※採択時は一律4割減で交付される→それでも購入可能な金額に設定してあるか
	※設備・消耗品: 用途もできる限り記入
4	3 人権の保護及び法令等の遵守への対応
4	文字サイズは11ポイントより小さくないか(見出しのサイズが11ポイントなので参考)
4	対象となる措置を網羅してあるか(倫理・動物・組換えなど)
4	他のページに書いてある場合は、このページへ移動&空いた欄を充実させる
4	該当しない場合、その旨を書いているか
5～6	研究経費とその必要性
5～6	研究経費総計の90%超が特定の費目に偏っている場合、理由を書いているか
5～6	「その他」費として大きな割合を占めるものがある場合、理由を書いているか
5～6	各物品・料金の必要性が説明されているか
5～6	図書・ソフトは消耗品費、ソフト(ライセンス)・動物飼育費(外注)はその他
5～6	※採択時は応募額どおり交付される→高・低すぎる金額に設定していないか
5～6	※設備・消耗品: 用途もできる限り記入
5～6	※旅費: 行先・日数の予定もあれば記入
7	研究費の応募・受入等の状況
7	科研費以外にもAMEDや財団助成金も全て記載対象
7	(国外の研究資金を全て、各研究費欄に受入れの際の自分の所属機関・職名)※科研費以外も
7	(次年度以降も続く場合、『期間全体の額』は見込で可)
7	( )内は研究期間全体の総額(分担者がいる場合は、分担者への配分額を差し引いた金額)
7	各研究費ごとに「受入れるに当たっての所属組織・役職」を記載しているか?